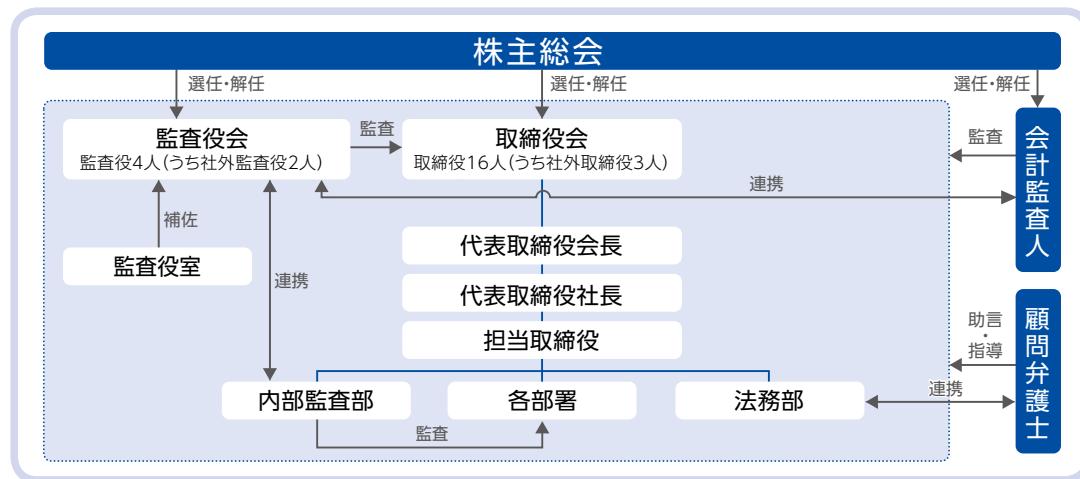


コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題として認識し、取締役の責任および個別事業の責任体制を明確にしています。今後も経営の透明性および迅速性を確保していきます。

▶ コーポレート・ガバナンス体制図 (2019年6月27日株主総会後)



内部通報制度の設置

法令違反や社内不正など、また、コンプライアンスに違反する行為の発生を防止または早期発見して是正することを目的に、内部通報制度「レポートライン」を設置しています。内部窓口（「一般窓口」「監査役窓口」）と弁護士による外部窓口を設置し、通報者に不利益がおよばない仕組みを構築しています。

コンプライアンス体制

コンプライアンスとは法令順守に限らず、社内ルール、良識・モラルといった社会倫理、道徳なども含めて守ることであり、「ステークホルダーの信用・信頼に応えること」であることを一人ひとりに浸透・実践させることが重要と考えています。

お客さま・社会から信頼される誠実な企業であり続けるために、「東洋水産グループ行動規範」を制定するとともに、さらにコンプライアンスを推進していくために、法務部が主管となってコンプライアンスマニュアルの周知・徹底や役員・全社員を対象とした全国の事業所を巡回して実施するコンプライアンス勉強会など、コンプライアンス教育に取り組んでいます。



コンプライアンス勉強会の様子

内部統制システム

取締役および社員が企業倫理や社会的責任の重要性を認識し、関連法規および各種規定を順守するために内部統制システムを構築しており、業務が適切かつ効率よく実行されるように常に見直しを行っています。また、取締役会並びに監査役は本システムを利用して効果的な取締役の職務執行の監督、監視を行っています。

リスク管理

リスク管理については、内在するリスクを把握・分析・評価した上で適切に対策を実施しており、万が一、事業活動上の重大なリスクが発生した場合を想定し、企業価値の毀損を回避するための迅速な対応を行う体制を整えています。また、監査部門は、各部門のリスク管理状況について、業務から独立した視点で監査を実施しています。